

# 日本歯科東洋医学会関西支部会 2019

昨今のストレス・スピード社会に耐えうる心身にするために、必要な栄養素とは何であろうか？

2012年からは漢方薬の歯科保険適応が認められ、2017年には11方剤まで増えましたが、どれくらいの歯科医師が処方しているのでしょうか？本年度の関西支部会は、午前に学会認定医取得には必要十分条件の学会指定入門講習会を行います。どなたも参加できますが、認定医取得を目指す方は必ず参加下さい！午後からは一人ひとりの体質や症状にあわせ、西洋医学のみならず東洋医学、分子整合栄養医学などの中から適切なものを選択し、「病気予防」を第一に、『こころもからだも喜ぶ医療』をモットーに、サプリメントや漢方を駆使して診療を行っておられるかわい内科クリニック院長の川井勇一先生に3時間にわたり講義をして頂きます。東洋医学に限らず、サプリメント、胃腸トラブルなどのキーワードで関心ある方はぜひご参加下さい！

日時：令和元年8月4日(日)

場所：大阪大学中之島センター

## プログラム

9:00～9:30 支部総会

9:30～12:00 日本歯科東洋医学会 入門講習会

東洋医学概論	河野 渡 (日本歯科東洋医学会指導医)	日本歯科東洋医学会会長	指導医
歯科鍼灸	英保武志 (日本歯科東洋医学会指導医)	日本歯科東洋医学会常任理事	指導医
歯科漢方薬	久保茂正 (日本歯科東洋医学会指導医)	日本歯科東洋医学会常任理事	指導医

13:00～16:00 教育講演 「現代人に必要な栄養素とその東洋医学的視点」

川井勇一 (かわい内科クリニック院長)

現代社会はストレス社会、スピード社会である。スピードが求められることすなわち、多くのエネルギーが求められる。そのエネルギーは、東洋医学的には「後天の気」であり、一般的にはそれは「栄養素」ということになり、そのほとんどが食物から得ることになる。東洋医学的には、食物から胃腸を介してエネルギーを得る役目をになうのは、五臓でいうところの「脾」である。しかしこの「脾」の働きは、「肝」の影響を受け、ストレス社会では自律神経すなわち「肝」が乱される。その結果、ヒトの身体はエネルギーを充分得ることが出来ず、悪循環に陥る。西洋医学的には、現代に増加している疾病として過敏性腸症候群や機能性ディスペプシアなど、胃腸疾患が多く上げられる。これはやはりストレス社会、スピード社会の結果といえるのだろうが、この胃腸のトラブルを改善するために、多くの栄養素が必要であり、まず胃腸の状態が悪いと栄養不良になるという悪循環を断ち切らねば、十分な改善は得られない。漢方薬も従来から栄養状態が良いとその効果も良いということがわかっている。胃腸の状態を改善し、細胞レベルでの栄養状態を改善することこそが、現代社会をうまく切り抜ける鍵である。現代人に必要な「後天の気」そして「細胞に必要な栄養素」を得るためのヒントについて、お話しさせていただきたい。



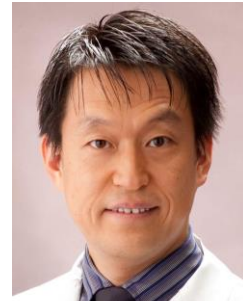
河野 渡



英保武志



久保茂正



川井勇一

参加費：¥5,000円 (歯科医師、医師、薬剤師、鍼灸師) ¥2,000円 (歯科衛生士、コデントラル) ¥無料 (学生6年生まで)  
定員：100名 内容に興味ある方は会員、非会員、支部を問わずどなたでも参加できます

但し、日本歯科東洋医学会認定医のためのポイント算定には学会員であることが条件です

申し込み：事務局へFAX、E-mail、TEL 申込後、下記口座へお振り込み下さい

日本歯科東洋医学会 関西支部事務局：〒194-0204 東京都町田市小山田桜台2-5-19-103

クラハシ医療システム内 TEL042-860-0461 FAX042-860-0462 E-mail:s-kura@kg7.so-net.ne.jp

振込先 振込先 三井住友銀行 泉大津支店(普) 1036630 日本歯科東洋医学会関西支部

2019 日本歯科東洋医学会関西支部会 ー超高齢社会に寄与する口腔漢方医学 申し込みー

氏名： \_\_\_\_\_  会員  非会員 E-mail： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

住所：〒 \_\_\_\_\_ 勤務先： \_\_\_\_\_ 生年月日： \_\_\_\_\_

職種： 歯科医師・医師  薬剤師  鍼灸師  歯科衛生士・看護師  コデントラル・その他  学生